



かけはし

長沢中たより 令和2年3月11日(水)

No. 3 校長 吉川 和良

学校教育目標：自己を高め 他を思いやり 自立できる生徒を育てる

学校評価アンケート

年度末を迎え、1年間のまとめの時期になりました。本校も「学校評価アンケート」の結果をもとに、成果と課題を明確にし、次年度につなげていきたいと思っております。お忙しい中、ご協力いただきありがとうございます。

本校は、昨年度まで『主体的な学習を生みだすグループ学習』を研究テーマとして2年間授業改善に取り組んできました。今年度からは、ステップアップさせるべく、市教育委員会より「フ

生徒への質問内容	よくあてはまる	ややあてはまる	あてはまらない等
学習へのやる気を高めている	19%	52%	29%
全員が参加できる授業に取り組んでいる	45%	43%	12%
解らない仲間を見つけサポートしている	42%	39%	19%
少人数や全体での学びあいの場で、自分の考えを相手に伝えている。	39%	46%	15%

ロンティア研究校（4年間）」としての指定を受け、これまでの研究成果をより確かなものにする取組を進めています。具体的には、研究テーマを『「生徒が」主体的・対話的で深い学びに取り組む授業づくり』とし、生徒の豊かな学びと学力の

保障のため、「生徒が何を学ぶか」だけでなく「生徒がどのように学ぶか」や「教師が授業をどのようにコーディネートするか」の視点で、実践的な教育研究を進めています。また、スーパーバイザーとして西留安雄先生をお招きし、数々のアドバイスをいただきました。表は「授業改善に関する生徒アンケート回答結果」です。まだまだ、十分とは言えず、特に生徒の学習意欲の向上が大きな課題となっています。

三方よしの教え

昨年末、ある新聞の一面に「日本式警察普及へ奮闘」の見出しで記事が掲載されていました。内容は以下の通りです。

世界最悪レベルの治安改善が最優先課題の中南米諸国で、日本の地域警察活動や防犯の考え方を吸収し、自国に根付かせて犯罪抑止を図ろうとの動きが広がっている。・・・

南米ブラジルの警察は以前は治安の悪さ故に、犯罪者の摘発や事態の鎮圧を主眼とする「対決型」でした。その現地で日本から派遣された人達が説いたのが、警察官が率先して住民とコミュニケーションを取り、危機を事前に把握して対策を促す「防犯型」のアプローチです。様々な困難を乗り越えて、20年後の今、命に係わる事件の発生件数が約5分の1に減少しました。そして、ブラジルでの成果に注目したのが中米グアテマラです。日本式地域警察や防犯のアプローチについて教えを受けたブラジルの警察官らが、そのノウハウをグアテマラに伝えています。その結果、2017年の治安が良いとの回答27%が19年には71%になり、地元警察への信頼が大きく向上しました。

日本には「三方よし」という言葉があります。三方とは、自分・相手・社会を指しています。自分にとって良いことが、相手にとっても良いことになり、更に社会全体にとって良いことになることの大切さを教えています。今回の日本・ブラジル・グアテマラの関係はその一つと言えます。日頃の生活において、多くの人々が互いの幸せを願う人であってほしい。本当の幸せや喜びは多くの人と共有できるものです。

3年生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。皆さんの前途が、洋々たるものであることを心より願います。また、保護者の皆様におかれましては、本校の教育活動に、ご理解ご協力を賜りましたこと、お礼申し上げます。